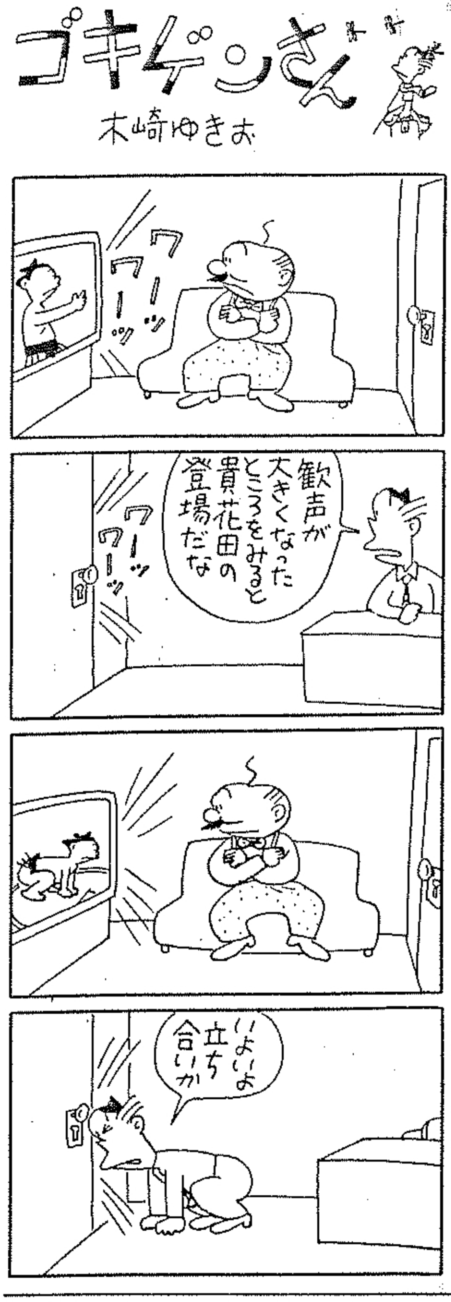
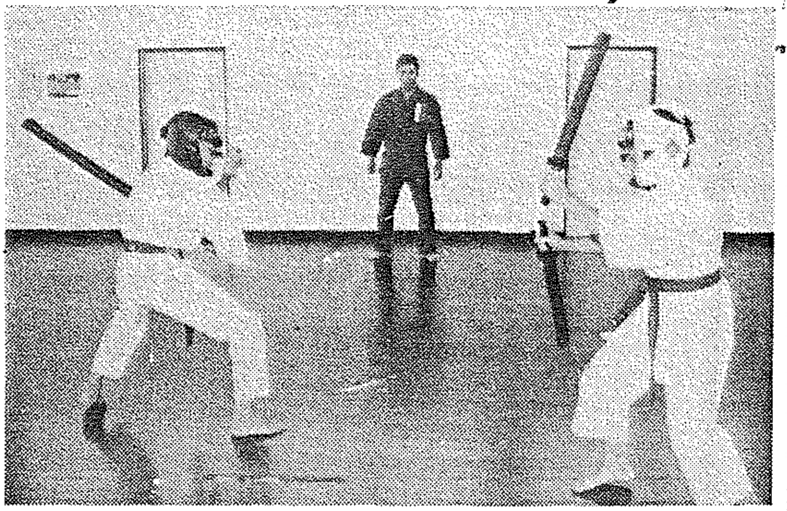

ゴキゲンさん
木崎ゆきお
ワーッ
ワーッ
ワーッ
ワーッ
歓声が大きくなったところをみると貴花田の登場だな
いよいよ立ち合いか



〝エイーッ〟〝ヤアー〟と鋭い気合で打突。山中初段と加藤初段。中央は山中師範代

護身道

今風チャンバラごっこ

昔の〝チャンバラごっこ〟がいま、スポーツ競技として登場、愛知県下ではこのほど、豊橋に初めてお目見えした。剣道のかしこまったルールを取り払ったこの〝スポーツチャンバラ〟は、老若男女を問わずに親しまれ、女性の護身術、サラリーマンのストレス解消法や中高年者の健康法として人気。関東地方では小中学の部活に組み込まれるなど、ニュースポーツとして脚光をあびている。

豊橋に初お目見え

若者から老人まで　健康法に最適

カルチャースクエア

きょう体験見学会

「エーイ」「ヤアー」—。迫力ある気合が道場に響きわたる。豊橋市神ノ輪町四六（イトーヨーカドー南）にあるカルチャースクエア教養部内の道場では、九月から新講座として「護身道（スポーツチャンバラ）」が発足。その新設開講・無料体験見学会（講師・山中佳巳師範代＝護身道五段・剣道三段）が八日午前十時、午後三時からの二回行われる。

このスポーツチャンバラを考案したのは、全日本護身道連盟（本部・横浜市）の田辺哲人会長。昭和四十八年ごろから普及し、現在では全国に二百以上の道場があり、愛好者は三万人を超えた。

装具は軽い面（めん）だけ。武具は同連盟により特許製作されているソフト棒の小太刀（六十ｾﾝ）、長剣（一ﾄﾙ）、杖（じょう、一・二ﾄﾙ）、槍（やり、二ﾄﾙ）、棒（二ﾄﾙ）を使用。これらを自由に使いどこを打ち、突いてもよい。剣が体のどこに当たっても勝ちになる。使用武具が自由のため、男女のハンディは全くない。昇級・昇段審査もある。

護身道の試合方法は、試合時間が三分（延長二分）。個人戦は三本勝負、団体戦は一本勝負。形式は個人戦の場合、基本的には小太刀を使用、団体戦（三人一組）は例えば、先鋒（小太刀）、中堅（長剣）、大将（得物自由）など。そのほか集団戦、多人数掛け、異種試合などがある。大会は、校区、地区、県、地方、全日本、世界大会などがある。また、親善大会も随時開催。昇級・昇段審査会（十級—十段）年間二回以上実施。

カルチャースクエアでは、八日の新発足を前に、すでに二十数人の入会申し込みがある。また、山中師範代の指導を受けていた山中大輔君（中3）と加藤大君（中2）は初段の認定試験に合格。開講すると、山中師範代をトップに、一般では本格的インストラクター・鶴野昭夫さん（四三）＝小太刀三段＝を指導員に、山中大輔、加藤大両君が準指導員として補助にあたる。

山中師範代は「とにかく、楽しんで汗を流してください。男女の別なく、老いも若きもみんな気楽に楽しめます」と話す。

入会金は五千円、月謝三千円。講座は週二回。問い合わせは、全日本護身道連盟・国際スポーツチャンバラ協会愛知県東三河本部（カルチャースクエア内）＝電話0532（48）6777番＝へ。

蒲郡ボート

最終日

1R

◎	1	岩原かほ美	（静岡）	①
	2	松瀬　弘美	（静岡）	❻
×	3	海野八重子	（静岡）	⑤
△	4	坂本　陽子	（福岡）	②
	5	一戸めぐみ	（静岡）	❹
○	6	関　恭子	（愛知）	❸

1↔6、1↔4、1↔3

2R

△	1	鈴木　昭子	（東京）	④
	2	横山　治	（愛知）	❺
◎	3	秋田　忠彰	（奈良）	❶
×	4	加藤　正司	（香川）	②
○	5	吉井　良紀	（兵庫）	③
	6	魚谷　直樹	（大阪）	❻

3↔5、1↔3、3↔4

3R

◎	1	石川　善基	（長崎）	①
	2	森岡　正	（香川）	②
○	3	岡村　光雄	（徳島）	③
×	4	木村さなみ	（埼玉）	⑥
△	5	池田　雷太	（東京）	❺
	6	東海林敬司	（栃木）	❹

1↔3、1↔5、1↔4

4R

	1	関　恭子	（愛知）	❺

7R

○	1	三木　勝	（岡山）	①
△	2	宮崎　哲司	（徳島）	②
◎	3	田中　寛	（広島）	❸
×	4	岡村　光雄	（徳島）	④
	5	木村さなみ	（埼玉）	⑥
	6	横山　治	（愛知）	❺

3＝1、3—2、3—4

8R

△	1	竹本　貞明	（広島）	②
○	2	池田　雷太	（東京）	❺
◎	3	前野　聡	（長崎）	❸
	4	岩原かほ美	（静岡）	⑥
×	5	山本　健一	（山口）	①
	6	井上　朝弘	（愛知）	④

3＝2、3—1、3—5

9R

◎	1	南　公	（京都）	①
○	2	近藤　昌義	（福岡）	②
△	3	橋本　龍也	（熊本）	③
×	4	山内　直人	（福岡）	❹
	5	森岡　正	（香川）	⑤
	6	須江　雅明	（東京）	⑥

1＝2、1—3、1—4

10R　選抜戦